

～ 監査連絡簿 & 未来会計図表の見方、読み方。～

各経営指標の意味については監査連絡簿の備考欄に記載しています。指標はあくまでも指標であって限界があるということをご認識してください。例えばFM比率は固定費(人件費を含む)÷(粗利益)という算式で示されるため、役員報酬の金額により同レベルの会社でも数値は異なってきます。また借入金対月商倍率においても賃貸マンション等の保有会社は非常に悪い数字がでてきます。ただし限界はありますが、数字は非常に冷徹ですので「ウソ」はつきません。

(1) FM比率

未来会計図表の中でもっとも重要な指標のひとつで、損益分岐点比率とも呼ばれています。低ければ低いほど経営の安全度が高くなります。FM比率が90%以下になるように頑張ってください。

(%)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食店業	サービス業	全企業
13年	93.1	91.2	89.7	93.3	95.4	90.9	91.7
12年	92.5	91.1	89.6	93.3	94.9	91.3	91.7
11年	93.0	92.4	91.0	93.8	95.8	91.6	92.5

(TKC 黒字企業の主要分析比較表より)

(3) 自己資本比率

銀行による企業格付け進行に対応し、自己資本充実を必要とする企業は利益の内部保留につとめ、すべての業種で2年連続改善されている。

(%)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食店業	サービス業	全企業
13年	29.3	31.9	26.8	27.3	25.2	33.4	29.2
12年	27.9	30.6	25.7	26.0	25.1	32.3	28.1
11年	26.6	30.4	24.8	25.3	22.6	31.2	27.3

(TKC 黒字企業の主要分析比較表より)

(2) 借入金対月商倍率

借入金対月商倍率は借入金売上高の何倍あるかを示す指標です。金融機関にとっては、貸付限度額を決定する際の主要な比率のひとつです。

(月)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食店業	サービス業	全企業
13年	3.2	4.9	2.6	2.7	4.3	4.5	4.0
12年	3.3	5.0	2.6	2.8	4.4	4.4	4.0
11年	3.4	5.1	2.6	2.9	4.8	4.4	4.1

(TKC 黒字企業の主要分析比較表より)

(4) 労働分配率

小売業が低下、卸売業・サービス業が横這い、建設業製造業・飲食店業が上昇と業種により動向が異なっている。

(%)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食店業	サービス業	全企業
13年	59.8	54.7	50.6	50.9	55.2	56.8	54.0
12年	59.4	54.5	50.6	51.0	54.9	56.8	54.0
11年	60.1	55.0	51.5	51.1	55.9	56.7	54.5

(TKC 黒字企業の主要分析比較表より)